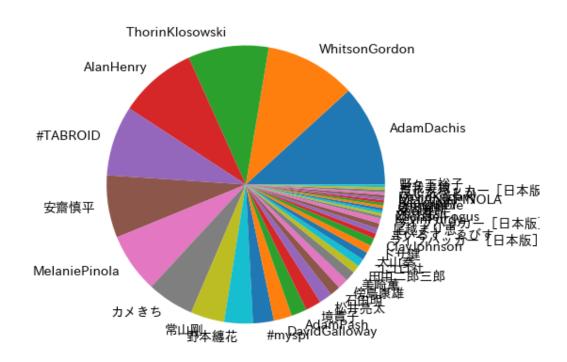
このレポートの目的は、2012 年 3 月のライフハッカーの 331 件の記事から有用な情報をマイニングすることです。この情報は、特定のタスク (自動強調付与など) に役立つかもしれません。

1)著者

まず、著者を記事数ごとに並べ替え、結果を円グラフに整理します。

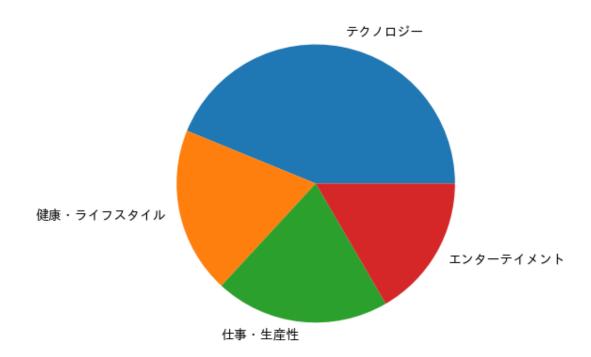


ほとんどの記事が翻訳作品であることがわかります。このうち、アダム・ダチス氏はライフハッカー英語版の編集長の一人で、記事数は39本に上ります。次に、日本人著者の中で最も記事数が多いのは安齋慎平さんで、記事数は24本です。

2)記事のカテゴリー

タイトルで記事の種類をchatGPTに予測させ、最終的にすべての記事を 4 つのカテゴリーに分類します:

- 1. テクノロジー関連記事(スマートフォン関連、Androidアプリレビュー、MacOSXのTips、Windowsの右クリックメニューのカスタマイズなど)
- 2. 健康・ライフスタイル関連記事(ペット関連、健康や運動に関する記事、写真撮影のコツなど)
- 3. 仕事・生産性関連記事(仕事の対処法、モチベーション向上や生産性向上に関する記事)
- 4. エンターテイメント関連記事(壁紙、音楽、動画に関する記事)



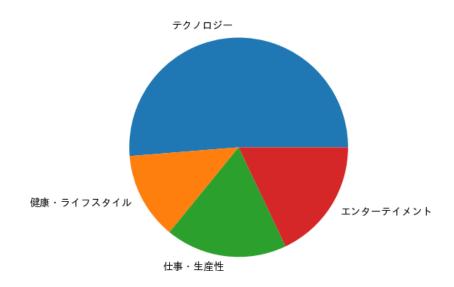
2012年3月のライフハッカーの内容はテクノロジー分野が中心だったことが分かります。 円グラフ以外、タイトルから名詞だけを抜き出し、WordCloudを作成しました。Android、アプリ、 iphoneなど、テクノロジー関連の単語が多いです。



3) 違う著者の創作分野

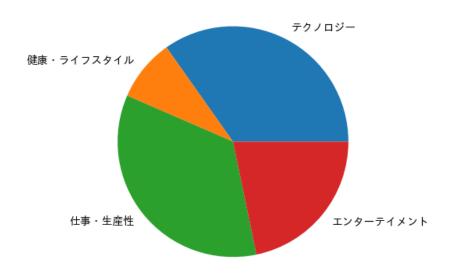
3.1) Adam Dachis

アダム・ダチス氏はライフハッカー英語版の編集長の一人で、今回の記事数の一番多い人です。 結果をまとめて描いた円グラフは以下の通りです。アダム・ダチスの分野は主にテクノロジーで あることが分かります。



3.2) 安齋慎平

日本人著者の中で最も記事数が多いのは安齋慎平さんで、記事数は24本です。結果をまとめて描いた円グラフは以下の通りです。アダム・ダチスの分野は主に仕事・生産性関連であることが分かります。



4)結論

このレポートを通じて、2012年3月のライフハッカーの記事について次のことが分かりました。

- 記事のほとんどが翻訳作品です。
- 内容はテクノロジー分野が中心です。
- 著者による記事の内容の傾向についても知見を得ました。そのうち、記事数が最も多い 外国人のアダム・ダチス氏はテクノロジー関連の記事を書く傾向があり、記事数が最も多い い日本人の安齋慎平氏は仕事や生産性に関する記事を書く傾向があります。